



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード: 6958)

2017年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2016年11月25日

日本シイエムケイ株式会社

1. 2017年3月期 第2四半期累計期間 実績
2. 中期経営計画 進捗状況
3. 補足資料

1. 2017年3月期 第2四半期累計期間 実績

- 好調な車載向けの販売により、円高による減収影響をカバーし、売上高は前年とほぼ同水準を維持。
- 経営合理化(国内の生産拠点集約及び希望退職者の募集)の実施により、国内損益が大幅に改善。
- 海外についても、固定費削減・歩留まり改善等により、損益が大幅に改善。
- これにより、連結営業利益は前年から黒字転換。

1. (2)連結業績



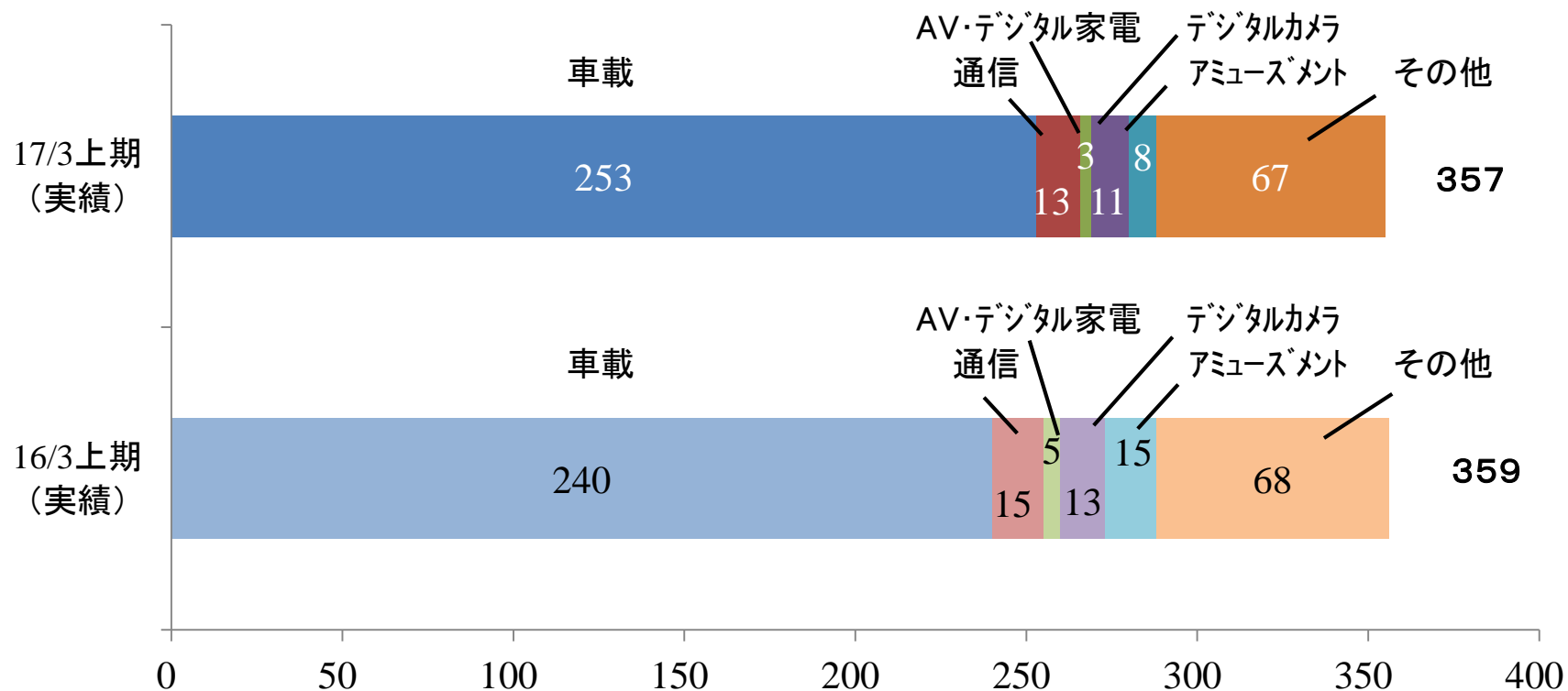
(単位:百万円)

	16/3上期 (実績)	17/3上期 (実績)	前年比増減	
			金額	率
売上高	35,949	35,785	-163	-0.5%
営業利益	▲502	860	+1,363	—
経常利益	▲1,425	776	+2,202	—
当期純利益	▲8,485	802	+9,288	—
為替レート(USD)	120.50	111.47	-9.03	-7.5%

1. (3)用途別売上高



(単位:億円)



- ・ 車載は、既存顧客の深堀りと新規顧客開拓の営業活動を押し進めたことに加え、先進運転支援システム(ADAS)関連の販売が増加し、前年比増収。
- ・ アミューズメントは、ゲーム機向けの販売が減少し、前年比減収。

1. (4)国内経営合理化

■計画(2015年9月30日発表)

① 国内生産拠点の集約

- 2016年9月末を目途に群馬県内2工場での生産を停止
- 生産品は、順次国内外のグループ工場へ移管
- 従業員は、配置転換及び希望退職により対応

② 希望退職者の募集

- 対象者 勤続3年以上かつ40歳以上の社員
- 募集人員 200名程度(応募人数:247名)



■結果(2016年9月末)

- 生産集約、希望退職ともに実施完了。
- 国内工場全体の稼働率上昇により、収益改善が実現。

1. (5)国内経営合理化



■経営合理化による利益効果(実施前比較)

(単位:億円)

	16/3期			17/3期			
	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	通期 見込
人件費削減	—	2.6	2.6	3.4	3.6	7.0	15.0
減価償却費減少	1.4	1.4	2.8	1.1	1.1	2.2	4.4
その他 (追加費用含む)	▲0.0	▲0.6	▲0.7	▲1.3	▲1.3	▲2.6	▲3.8
合計	1.4	3.4	4.8	3.1	3.4	6.6	15.6

- 経営合理化実施により、人件費削減を中心として、今上期6.6億円の利益効果。
- 9月末での合理化完了により、通期では15.6億円の利益効果を見込む。

1. (6)地域別業績



(単位:億円)

	16/3上期(実績)		17/3上期(実績)		前年比	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
日本	228	▲1.2	235	6.3	+7	+7.5
中国	112	▲1.3	104	3.0	-8	+4.3
東南アジア	77	▲0.5	78	1.3	+1	+1.8
欧米	26	0.8	27	1.2	+1	+0.4
計	445	▲2.3	446	12.0	+1	+14.3
消去又は全社	▲85	▲2.6	▲88	▲3.4	-3	-0.8
連結	359	▲5.0	357	8.6	-2	+13.6

- 日本は経営合理化、海外は固定費削減、歩留まり改善等の取り組み実施により収益性が改善し、全地域で黒字化を達成。

1. (7)通期連結業績見通し



(単位:百万円)

	16/3通期 (実績)	17/3通期 (見通し)	前年比増減	
			金額	率
売上高	73,098	77,000	+3,901	+5.3%
営業利益	381	2,500	+2,118	+555.1%
経常利益	▲628	2,100	+2,728	—
当期純利益	▲8,122	1,600	+9,722	—
為替レート(USD)	121.04	115.00	-6.04	-5.0%

- ・ 通期業績予想は期初計画を据え置き

2. 中期経営計画 進捗状況

■ 中期経営方針

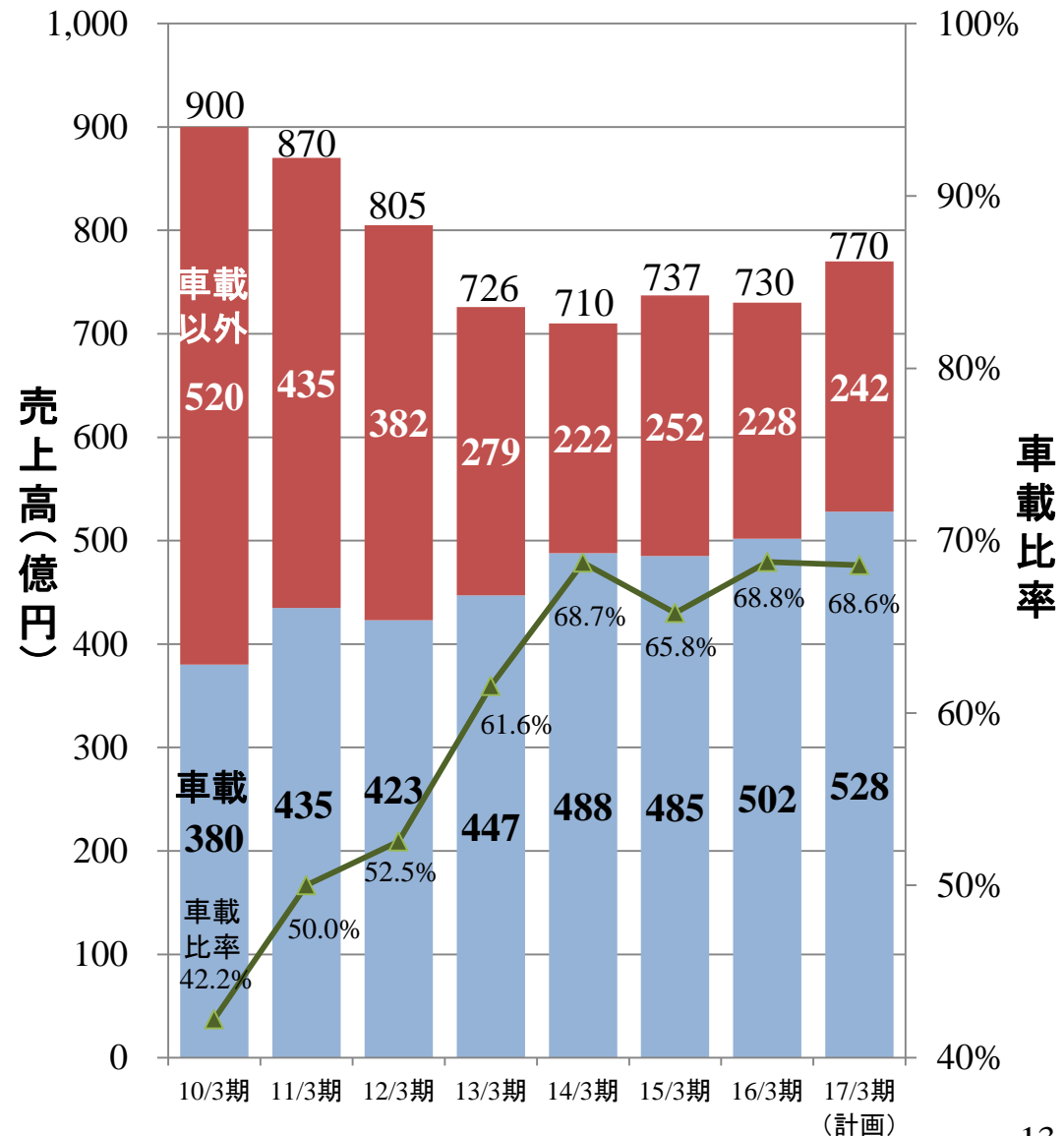
- ◆ 経営基盤の盤石化から成長路線へ
- ◆ 車載基板市場での競争優位確立

■ 重点施策

- ◆ 車載及び通信デバイス市場、
海外での売上拡大
- ◆ 生産力の強化
- ◆ コスト対応力の強化
- ◆ 品質力の強化

2. (2)車載向け売上

- リーマンショック後、AVデジタル家電や通信機器等の民生分野は、東アジア企業の台頭、顧客の海外生産シフト等により販売減少
- 一方、車載分野は、顧客との長期にわたる取引実績、製品品質、サポート体制等の強みを活かし販売拡大
- 2015年5月の中期経営計画策定以降、車載分野での拡販に注力しており、着実に受注は増加

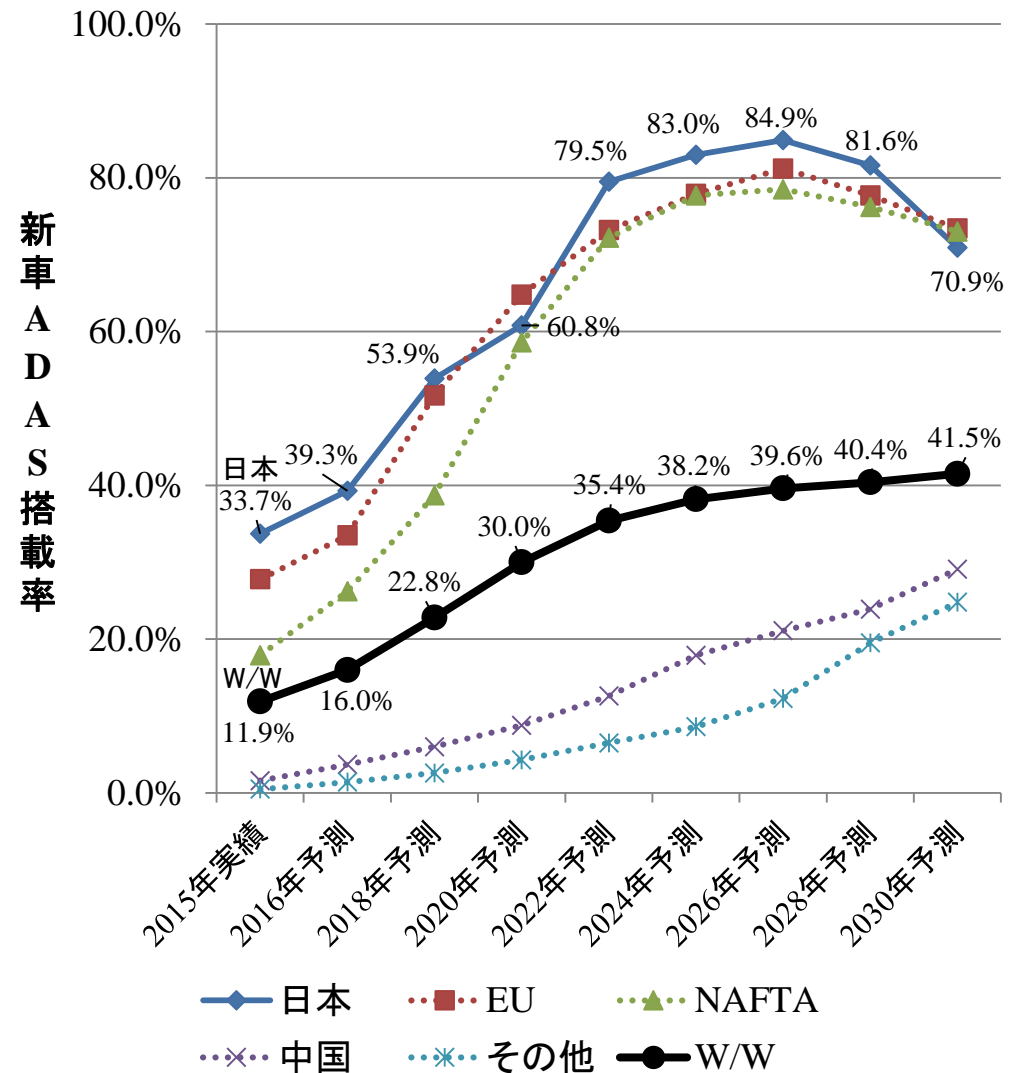


2. (3)今後の車載基板市場動向



■ ADASの普及

- 安全運転支援システム (ADAS)では、ミリ波レーダーやカメラなどが車に搭載
- ADASは、2020年頃にかけて急成長が予測されており、基板の需要増も見込まれる
- 当社では、ADAS分野に注力しており販売が増加



※搭載率は、各地域の新車販売台数に対するADAS搭載車数の比率(レベル3以上の自動運転は含まず)

出所:「2016次世代カーテクノロジーの本命予測」富士キメラ総研より当社作成

2. (4)今後の車載基板市場動向



■次世代自動車(HV/PHV/EV/FCV)の普及

- 環境規制等により、次世代自動車の普及が予測されている
- 従来車と比べて、1台あたりに使用される基板は多く、今後車載分野拡大に繋がる見込み

<次世代自動車販売台数・販売比率>

(単位:千台)

地域	2015年実績		2020年予測		2030年予測	
	販売台数	販売比率	販売台数	販売比率	販売台数	販売比率
日本	950	18.8%	1,380	26.2%	3,050	58.4%
EU	130	0.8%	440	2.8%	10,070	63.7%
NAFTA	510	2.4%	1,250	5.9%	11,250	49.8%
中国	200	0.8%	600	1.9%	10,380	18.9%
その他	50	0.2%	410	1.6%	1,910	4.6%
W/W	1,840	2.1%	4,080	4.1%	36,660	26.2%

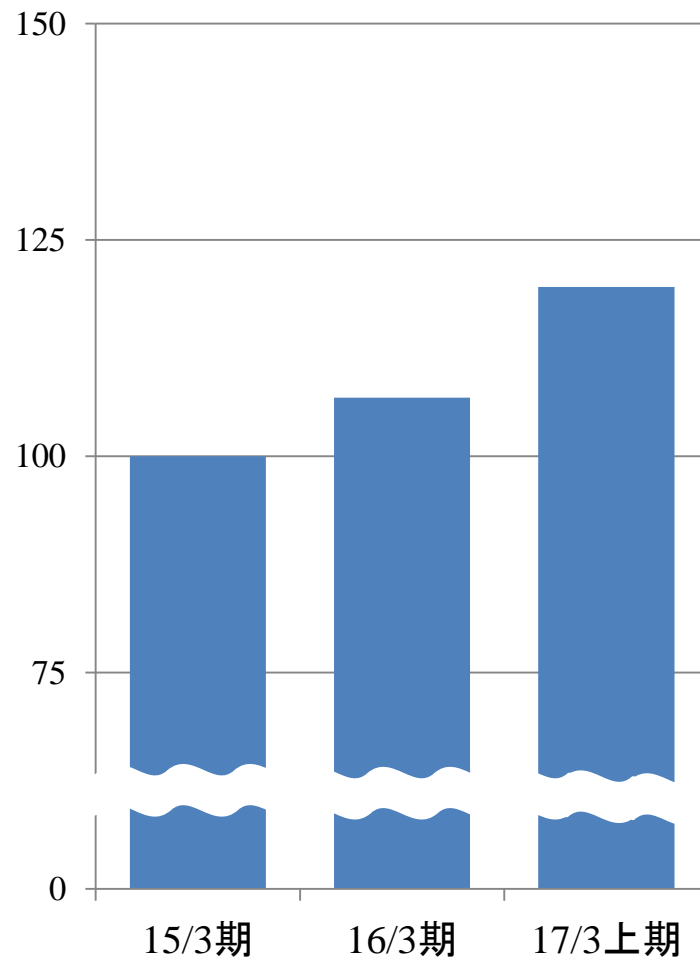
※販売比率は、各地域の新車販売に対する次世代自動車の販売比率

2. (5)コスト対応力の強化

■国内生産拠点の集約

- 経営合理化により、国内の量産工場を3拠点から2拠点に集約
- 一人当たり売上高は、集約前と比較して増加しており、収益性が向上
- 加えて、国内の受注は、ADAS分野の需要増加や既存顧客との取引拡大により、回復傾向にあり
- この結果、国内工場は高稼働を維持でき、国内損益が大幅に改善
- 今後は、生産性向上のため自動化投資等を行い、更なる収益性の向上を図る

国内量産工場 一人当たり売上高
(指数)



※15/3期を100とした指数

2. (6)生産力の強化



■タイ工場の更なる生産能力増強

- 2016年9月までで、2015年末比30%の生産能力増強が完了。
- しかしながら、今後も自動車向け中心に需要増加が見込まれ、追加の生産能力増強が必要とされる状況。
- 以上のことから、2018年までに**更に30%の能力増強**を実施予定。
- 来期の売上及び利益拡大に寄与する見込み。

CMK CORPORATION
(THAILAND) CO., LTD.

生産品目

ビルドアップ基板

多層プリント配線板

両面プリント配線板



2. (7)連結業績



(単位:億円)

	中期経営計画 (2015/5/25発表)			実績及び見込 (2016/11/25時点)		
	16/3期	17/3期	18/3期	16/3期 (実績)	17/3期 (見込)	18/3期 (計画)
売上高	750	820	900	730	770	900
営業利益	15	25	45	3	25	45
営業利益率	2.0%	3.0%	5.0%	0.5%	3.2%	5.0%
当期純利益	7	16	30	▲81	16	30
ROE	1.2%	2.9%	5.0%	-15.9%	3.4%	6.1%

※想定為替レート:USD…115円、EUR…125円

3. 補足資料

3. (1)用途別売上高



(単位:億円)

	16/3期(実績)			17/3期(見込)		
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期 (見込)	通期 (見込)
カーエレ・車載	240	261	502	253	275	528
通信	15	11	27	13	21	34
AV・デジタル家電	5	4	10	3	12	16
デジタルカメラ	13	12	25	11	12	24
アミューズメント	15	9	24	8	16	24
その他	68	71	140	67	74	142
合計	359	371	730	357	412	770

3. (2)基板種類別売上高



(単位:億円)

	16/3期(実績)			17/3期(見込)		
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期 (見込)	通期 (見込)
両面	72	69	141	69	66	136
多層貫通	140	155	296	152	193	346
ビルドアップ	105	101	207	101	114	215
その他	41	44	86	34	37	72
合計	359	371	730	357	412	770

3. (3)地域別業績



(単位:億円)

	16/3通期(実績)		17/3通期(見込)		前年比	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
日本	467	6.6	468	15.7	+1	+9.1
中国	225	▲0.9	236	9.4	+11	+10.3
東南アジア	160	0.0	206	4.5	+46	+4.5
欧米	55	2.3	59	2.2	+4	-0.1
計	908	8.1	970	31.8	+62	+23.7
消去又は全社	▲177	▲4.3	▲200	▲6.8	-23	-2.5
連結	730	3.8	770	25.0	+40	+21.2

3. (4)設備投資



(単位:億円)

	16/3期(実績)			17/3期(見込)		
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期 (見込)	通期 (見込)
国内	7	4	12	13	9	22
海外	8	10	18	10	20	30
連結	15	15	31	24	29	53
減価償却費	26	22	49	21	25	46

本資料における将来情報は、2016年11月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

(数字は切捨てにて表示)

END